



田中良二後援会だより
第2号

〒895-0027
薩摩川内市西向田町3-34
TEL 0996-22-1011
FAX 0996-22-1088

良二君と良き友に

田中良二君出番じゃっど！！

田んぼの

中で生まれ …(田海町役田在住 50才)

良いことを

二つします

1, 薩摩川内市を良くします

2, 鹿児島県を良くします

夢に向かって改革発展

みんなで いかす ふるさと自然~共生~

- ・自然エネルギーの活用
- ・環境保護、環境教育
- ・子供たちにふるさと体験

がんばる 地域づくり~協働~

- ・地区コミュニティの振興
- ・男女共同~生き育て働きやすい社会、個性と能力の発揮
- ・市民協働~ボランティア、NPOの支援
- ・地域協働~安全安心のまちづくり
笑顔と健康社会の実現
文化、教育の振興

かえる 行政システム~改革~

- ・10万都市ネットワークの構築
- ・行財政改革~総合事務所を中心とした行政システム
- ・地方分権、権限移譲
- ・道州制ビジョン

つくる 未来の発展~発展~

- ・農林水産業の振興、市街地活性化新計画、企業用地整備
- ・スポーツ、観光の振興
- ・定住人口、交流人口の増加
- ・新交流、交通、情報化体系の構築

めざす 宝の飯島~飯振興~

- ・飯島の総合的振興施策の展開

夢ある10万都市づくり



県政の場で

薩摩川内市を変えるのは今！
良くするのは今！

略 歴

昭和 31 年 川内市田海町生まれ	昭和 54 年 川内市役所入庁
八幡小、下東郷中、	都市計画課長
川内高校(27期)	合併協議会事務局長
九州大学卒業	企画政策部長
	現 在 市空手協会理事長

後援会活動

田中良二君と語る会



熱き思い

笑い・ユーモア

地域と一体の4年制大学に (H10.5月)

平成6年、川内市に開学した鹿児島純心女子大学は、今年三月第一期の卒業生を送り出した。

大学誘致は、四年制大学の空白地帯と言われた九州西南地方にあって、川内市と鹿児島純心女子学園との公私協力方式プロジェクトであった。

広大な用地の買収、造成・建築工事・文部省への設置認可申請など、膨大な事務作業が地域住民の協力と議会の理解のもとに進められた。

当時の学校法人関係者の昼夜を分けぬ努力を思うと、今でも胸に熱く迫るものがある。

4年前の開学は市民長年の悲願であったが、大学誘致の本旨からすれば、ひとつのプロセスであり、将来にわたり地域と一体の高等教育機関として育てていくことが肝要であり、われわれの使命であると思う。

また四年制大学設置は高学歴化の推進する時代の要請であり、鹿児島純心女子大学が名実ともに南九州の若者集積のシンボルとして発展を続けてほしいと願う。

焼酎で美肌に (H13.11月)

○田中良二課長(45)は飲み方が大好き。その日もいきつけの小料理屋に4人で入った。「夏もうまいが、寒くなってもいける。」と手始めにビールをグイグイ。

○その後焼酎に切り替える段になり、気の利く後輩がささとお湯割りを作り始めた。「やっぱ焼酎じゃな」「じゃっどな、薄めののがスースイっど」とピッチも上がり三合ほどあけたそのとき。部屋に入ってきた店のママが「キヤー」と悲鳴を上げた。

○「しもた、秘蔵のキープに手をつけてしまったか」と田中課長。しかし、4人が飲んでいたのはなんとママ愛用のヘチマ水だった。酔いが一気にさめた4人、翌日顔はしっとりすべすべだったとか。

ホームページは田中良二で検索出来ます